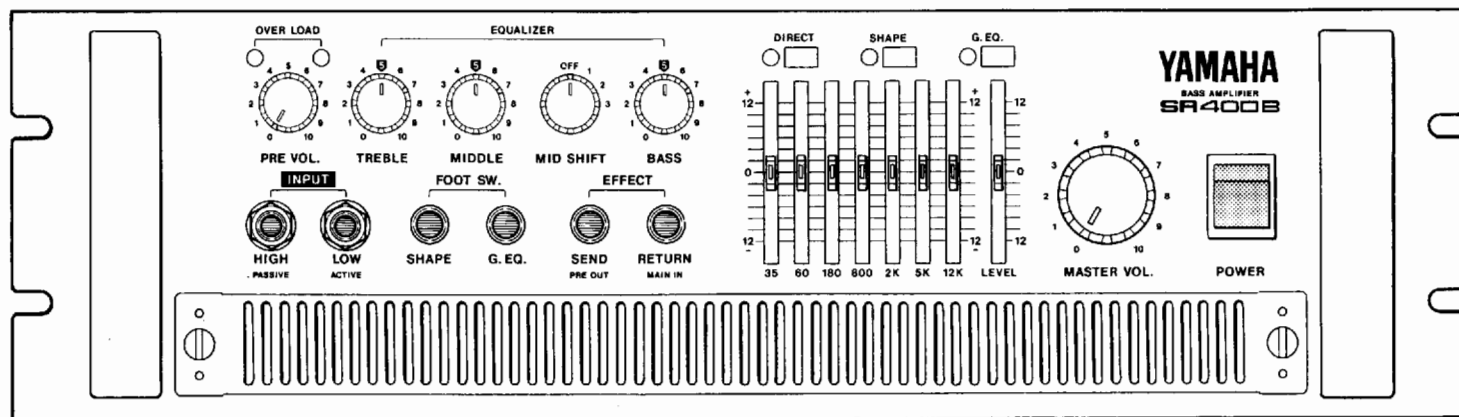


YAMAHA

BASS AMPLIFIER

SR400B

取扱説明書



ごあいさつ

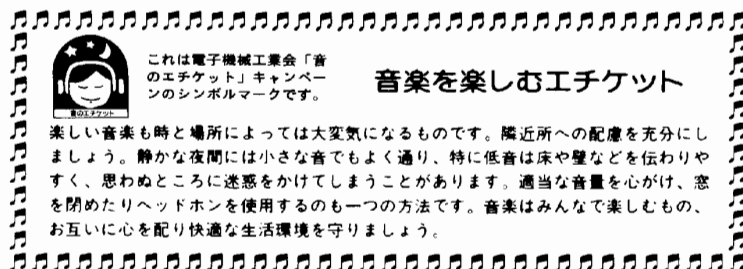
このたびは、YAMAHAベースアンプリファイアSR400Bをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。


SR400Bは、最大400Wの実行出力を持つ、ラックマウントタイプのプロフェッショナルベースアンプリファイアです。

本機の優れた性能をフルに発揮させると共に、末永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますよう、お願いいたします。

目次

SR400Bの特長	1
使用上の注意	1
メンテナンス	2
仕様	2
フロントパネル	3
サウンドメイクの手順	4
リアパネル	6
ブロックダイアグラム	8



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなて楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

SR400Bの特長

- ★19インチラックにマウント可能なプロフェッショナルデザイン（3Uサイズ）。エフェクター等と共にラックにセットアップすることができます。
- ★パワーアンプ回路にMOS FETを採用。フルレンジ対応で8Ω時300W、4Ω時400Wのハイパワーです。
- （HIGH/LOWの2つのインプットジャックとプリボリュームにより、アクティブ、パッシブどちらのタイプのエレクトリックベースでも、最適なレベルマッチングができます。マスターボリュームには、使いやすい大口徑ノブ（クリックタイプ）を採用しました。
- ★多彩な音作りが可能な、さまざまなコントロールを装備しています。使いやすい8バンドトーンコントロール、レベルコントロールを持つ厳選された7バンドのグラフィックイコライザー、中域の周波数特性カーブを微妙に変化させるミッドシフトスイッチ、さらにはチョッパー奏法に最適なセッティングをすぐに呼び出せるシェイプスイッチをも装備。
- ★別売のフットスイッチを接続すれば、グラフィックイコライザーのON/OFFや、シェイプのON/OFFが足元で行なえます。
- ★外部エフェクターの接続端子をフロント/リアの両パネル上に装備しています。SEND端子はプリアンプアウトとして、RETURN端子はメインアンプインとしての使用ができます。
- ★ベースギターから出力される生のサウンドキャラクターが、スピーカーアウトを通してダイレクトに出力される、ダイレクトスイッチを装備しています。
- （★過大な入力を警告するオーバーロードインジケーターや、各スイッチのON/OFFを表示するインジケーターに加え、グラフィックイコライザーの各バンドにもLEDを装備しました。暗いステージの上でもセッティングの状態がひとめでわかります。
- ★アンプ内の温度を感知して自動的に作動する冷却ファンを装備。長時間の使用でも安定した動作を約束します。

使用上の注意

- ◆次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。
 - 直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど
 - 温度の特に低い場所、または高い場所
 - 湿気やホコリの多い場所
 - 振動の多い場所
- ◆スピーカー等の損傷を防ぐため、接続コードの脱着時や電源のON/OFF時には、MASTER VOL. を必ず反時計方向に回し、音量を“0”にしてください。
- ◆本機とスピーカーとの接続は、必ず電源をOFFにしてから行なってください。
- ◆本機は日本国内仕様です。必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続して使用してください。
- ◆ヒューズ交換の際には、必ず当社規定のものをご使用ください。
- ◆リアパネルのAC OUTLETは250Wまで供給できます。これ以上の消費電力の機器には使用しないでください。
- ◆スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。
- ◆物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- ◆安全のため、落雷の恐れのある場合は電源コンセントから電源プラグを抜き取ってください。
- ◆雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離してご使用ください。
- ◆故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造しないようにしてください。

メンテナンス

● フィルターのお手入れ

フロントパネルの吸気孔には、ホコリ等の浸入を防ぐためにフィルター（防塵シート）が設けられています。この防塵シートの目が詰まると十分な空冷ができなくなりますので、定期的にチェックし汚れをこまめに取り除いてください。

1. アンプの電源を切り、AC電源ソケットから電源プラグを外します。
2. ベンチレートパネルを止めているネジ（2本）をマイナスドライバーで外し、ベンチレートパネルを外します。
3. 防塵シートを取り外して、ホコリを取り去ります。汚れがひどい場合は水洗いしてください。

防塵シートを水洗いした場合は、必ず十分に乾かしてからセットしてください。（絶対に濡れたままでセットしないでください。）

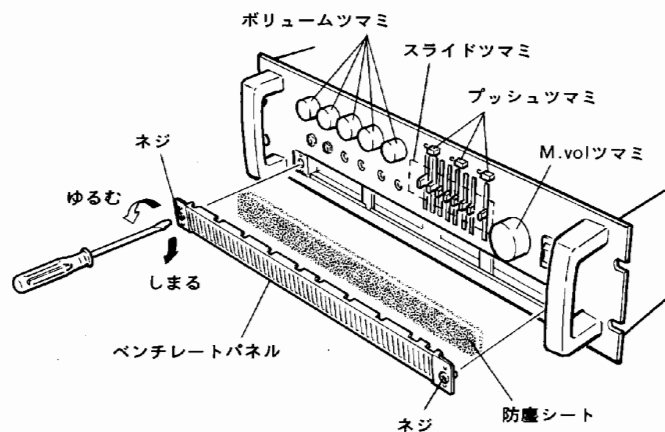
4. 防塵シートとベンチレートパネルを元のようにセットします。

● 補充用パーツのご案内

右表の部品を補充用パーツ（別売）として用意しておりますので、必要な場合は、お買上げ店または最終ページのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお申し付けください。

※パーツは単品で販売しております。

パーツ名	パーツNo.
ボリュームツマミ	VL767300
M.volツマミ	VL767400
スライドツマミ	VL787000
プッシュツマミ	VB469400
防塵シート	VL767500



仕様

定格出力（4Ω、T.H.D. 15%）	400Wr.m.s.
入力感度／インピーダンス （TONE全てフラット、PRE & MASTERVOL.最大。1kHz） INPUT HIGH LOW	-40dBm / 1MΩ -35dBm / 25kΩ
エフェクトループ EFFECT SEND EFFECT RETURN	-15dBm（10kΩ負荷） -15dBm / 47kΩ
T.H.D.（4Ω、100W、1kHz）	0.1%以下
残留ノイズ （VOL.最小、フィルター無）	-55dBm（1.4mV）以下
トーンコントロール TREBLE MID SHIFT 1 2 3 MIDDLE BASS	±15dB（基準：10kHz） +3.5dB（基準：1kHz、OFF） +6.5dB（基準：1kHz、OFF） +9.0dB（基準：1kHz、OFF） +7dB、3dB（基準：1kHz） +4dB、20dB（基準：100Hz）
グラフィックイコライザー	7バンド、±12dB（35、60、180、800、2k、5k、12kHz） ON/OFFスイッチ（別売フットスイッチでもON/OFF可） レベルコントロール、±12dB
その他の機能	シェイプスイッチ、ダイレクトスイッチ、オーバーロードインジケータ
使用ヒューズ	10A 1次側
定格電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	265W
寸法（W×H×D）	480×143×460（mm）
重量	20kg

● 0dB 0.775Vr.m.s.

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

フロントパネル

OVER LOADインジケータを見ながらPRE VOL.でゲインを調整。

トーンを調整します。

ONにすると、ベースギターの生のサウンドキャラクターをそのまま増幅して出力します。

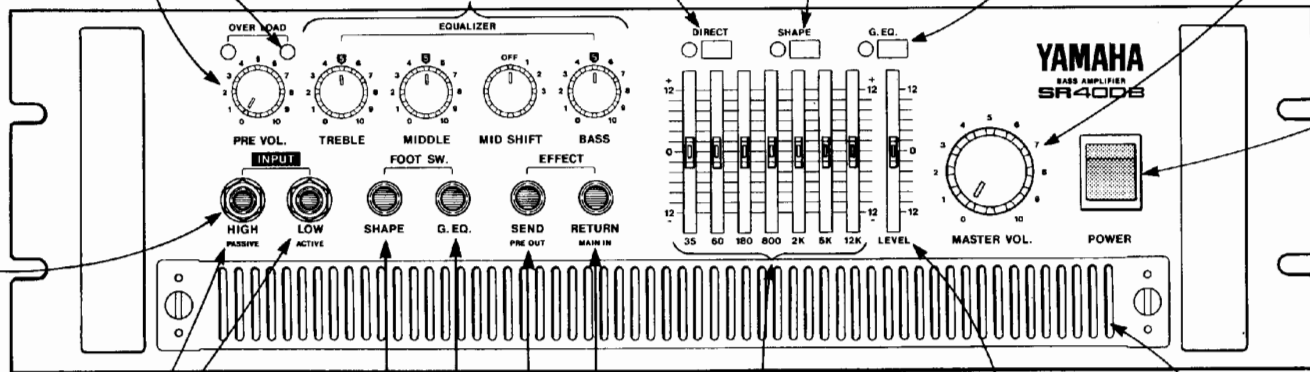
ONにすると、チョッパー奏法に最適な、低域と高域を強調したサウンドカーブが得られます。

グラフィックイコライザーのON/OFFスイッチ。ON時にインジケータが点灯。

サウンドメイクした信号のトータルの音量(出力レベル)を設定。

パッシブタイプ(アンプを内蔵しないピックアップをマウント)の電気ベースは、HIGH側ジャックへ接続。

アクティブタイプ(ローインピーダンス)ピックアップの電気ベースは、LOW側またはHIGH側ジャックへ接続。



電源スイッチ

グラフィックイコライザーでキメ細かなサウンドメイクを。

グラフィックイコライザーのボリューム。G.E.Q.スイッチをON/OFFした時の音量バランスを調整。

アンプの冷却用吸気孔。空気の通路をふさがないこと。

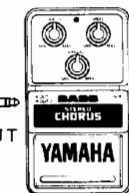
SHAPEのON/OFF



別売フットスイッチ FS-1

G.E.Q.のON/OFF

OUT



エフェクターを接続。

サウンドメイクの手順

イメージするサウンドを作り出すには、ベースギターとアンプとのマッチングから、徐々に組み立てていくことが大切です。以下の手順にそって、あなたのイメージするベースサウンドを作り上げてください。

※スピーカーとの接続

本機の電源をOFFにした状態で、本機リアパネルのSPEAKER端子とスピーカーの入力端子とを接続します。使用するスピーカーは、5、6ページをよく読んで、条件に合ったものをお選びください。

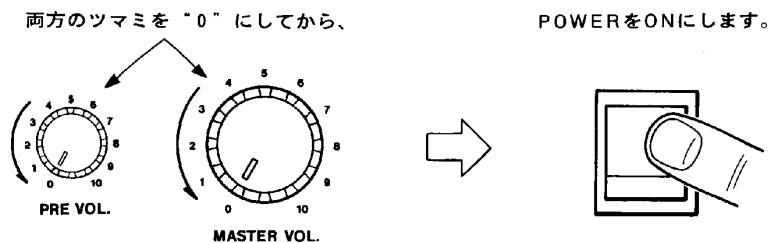
※電源を入れる前に

電源を入れる前に、必ずMASTER VOL.とPRE VOL.とを“0”にしてください。

MASTER VOL.やPRE VOL.が上がった状態で電源をON/OFFやプラグの抜き差しをすると、スピーカーやアンプをいためる原因となります。

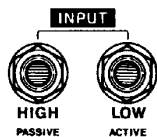
1. 電源を入れる

POWERスイッチをONにします。スイッチのランプが点灯します。



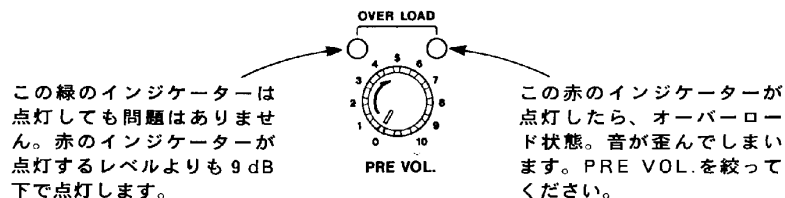
2. ベースギターを接続

ベースギターをアンプのINPUTジャックに接続します。パッシブタイプのエレクトリックベース（アンプを内蔵しないピックアップをマウント）は、HIGH側ジャックへ、アクティブピックアップなどのローインピーダンスタイプのエレクトリックベースは、LOW側ジャックへ接続します。



3. ゲインの調整

ベースギターを弾きながら、PRE VOL.を回してゲイン調整をします。OVER LOADインジケータの赤色が点灯しないレベルにつまみをセットしてください。



4. サウンドイコライジング

MASTER VOL.を適当に上げて、音を聴きながらトーンセッティングをやっていきます。

本機は、サウンドバリエーションを拡げる以下の5つの機能を装備しているので、これらの機能を組み合わせて、イメージするベースサウンドを作り上げてください。

① 3バンドイコライザー：TREBLE, MIDDLE, BASS

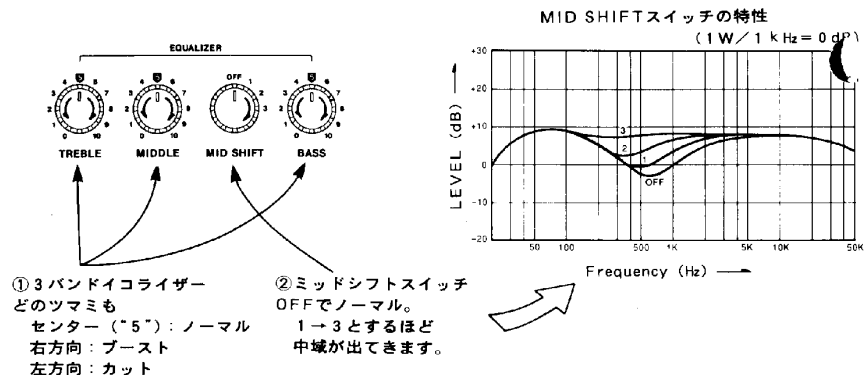
高域（TREBLE）、中域（MIDDLE）、低域（BASS）の音色をそれぞれコントロールします。

TREBLE, MIDDLE, BASSつまみがすべてセンター位置“5”で、ノーマルなサウンドになります。また、すべて“0”の位置にすると、音が出なくなります。

② ミッドシフトスイッチ：MID SHIFT

ベースギターのサウンドキャラクターの核となる中域の周波数特性カーブを変化させることができます。

OFFでノーマル。1～3と数字が大きくなるほど中域が出てきます。

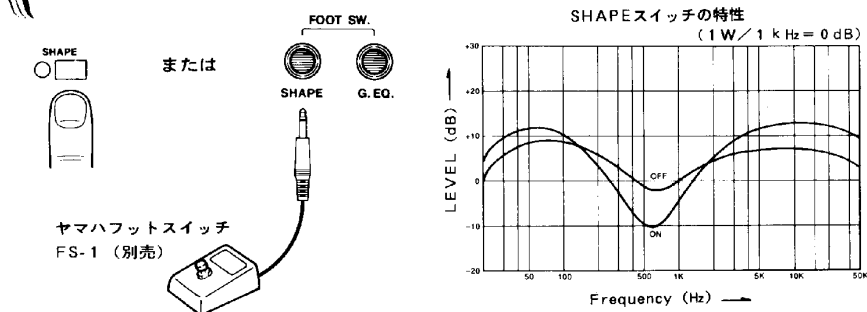


③シェイプスイッチ：SHAPE

このスイッチをONにすると、中域が抑えられ低域と高域が強調された、チョッパー奏法に最適な周波数特性カーブに設定されます。

別売のヤマハFS-1等のフットスイッチをSHAPEジャックに接続すれば、シェイプ機能のON/OFFを足元で切り換えることができます。

※フットスイッチ接続中は、フロントパネルのSHAPEスイッチでのON/OFFはできません。

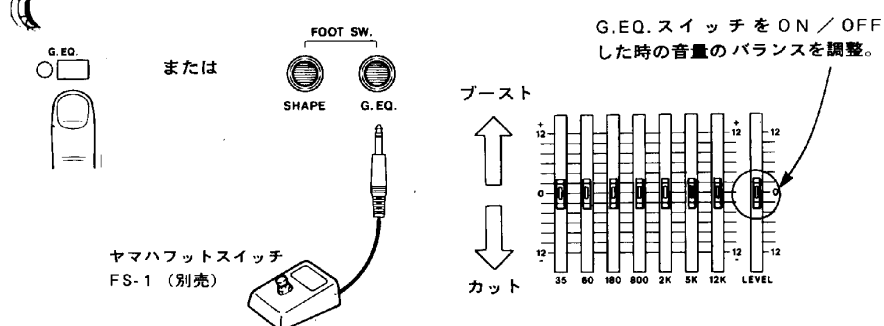


④グラフィックイコライザー：G.EQ.

各ツマミ下部の周波数ごとに±12dBの範囲でブースト、カットができます。緻密なトーンセッティングの他に、ノイズやハウリングを抑えることにも使えます。セッティングができれば、G.EQ.スイッチのON/OFFを切り換えた時の音量の補正を、右端のLEVELツマミで行なってください。

別売のヤマハFS-1等のフットスイッチをG.EQ.ジャックに接続すれば、グラフィックイコライザーのON/OFFを足元で切り換えることができます。

※フットスイッチ接続中は、フロントパネルのG.EQ.スイッチでのON/OFFはできません。

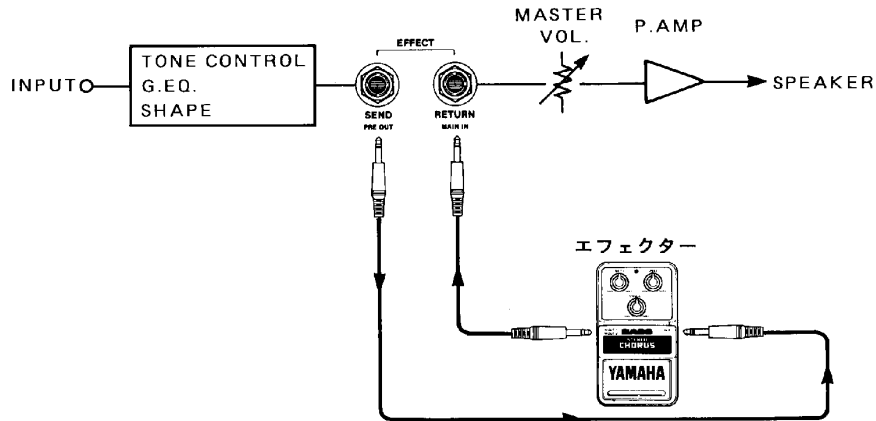


⑤ダイレクトスイッチ：DIRECT

PRE VOL.ツマミで調整した入力信号を、イコライザー等の回路を通さずに、直接パワーアンプで増幅して出力します。(P.8. ブロックダイアグラム参照) ベースギターの生のサウンドキャラクターをダイレクトに出力することができます。

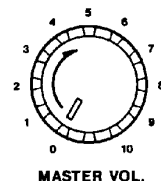
5. エフェクターの接続

コーラスやフランジャーなどのエフェクターを使用する場合は、フロントパネル、リアパネルいずれかのEFFECT SEND/RETURNジャック間に接続します。前記の“4”でトーンセッティングした信号にエフェクトをかけることができます。 ※フロントパネル、リアパネル両方のEFFECT SEND/RETURNジャックに接続した時は、フロントパネル側が優先され、リアパネル側へは信号が出力されません。



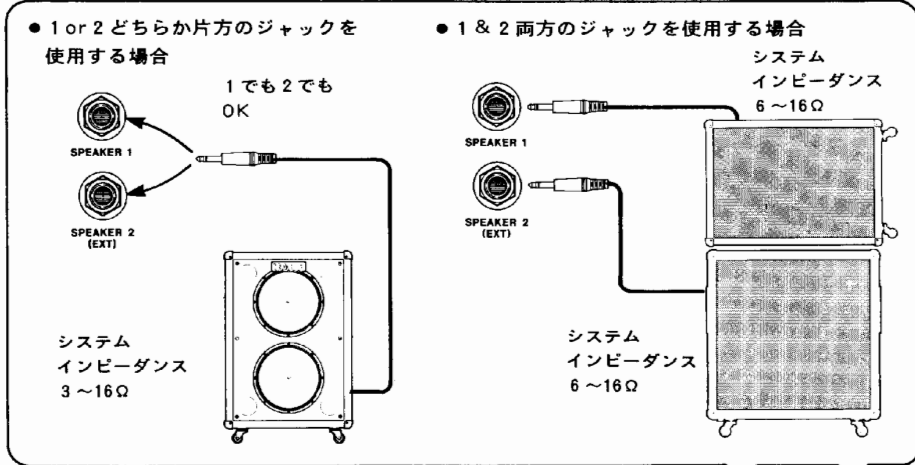
6. マスターボリュームの設定

イメージするサウンドが作れたら、最後に出力の音量をMASTER VOL.で決定します。



リアパネル

スピーカーを接続



リアパネルのEFFECT SEND, RETURNジャックは、フロントパネルのEFFECT SEND, RETURNジャックと全く同じものです。ラックマウントタイプのエフェクターと常にセットで使う場合は、こちらのジャックを使うと便利です。



①EFFECT SENDジャック (PRE OUT)

②EFFECT RETURNジャック (MAIN IN)

外部エフェクターを挿入するためのジャックです。

フロントパネルのEFFECT SEND/RETURNジャックと同じものです。

MASTER VOL.前の信号をSEND/RETURNするので、本機でサウンドメイクした信号をSEND (PRE OUT) ジャックより出力したり、外部のプリアンプで

プリコントロールした信号をRETURNジャックに入力 (MAIN IN) することもできます。

③SPEAKERジャック (1, 2 (EXT))

1と2のジャックは中で並列に接続されており、2台以上のスピーカーを接続することができます。

1または2のどちらか片方のジャックを使用する場合は、システムインピーダンスが3~16Ωのスピーカーを、1と2の両方のジャックを使用する場合は、それぞれのジャックにシステムインピーダンスが6~16Ωのスピーカーを接続してください。※誤った接続は故障の原因となります。ご注意ください。

※接続するスピーカーは、本機の出力に充分対応できる許容入力を持ったものに限りま

④ヒューズ

アンプの保護用のヒューズです。

ヒューズ交換の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、当社規定のもの

と交換してください。交換してもすぐに切れてしまう場合には故障が考えられますので、お買い上げ店もしくは最終ページのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご相談ください。

⑤ランド切り替えスイッチ

AC電源のアースの極性を切り替えるスイッチです。

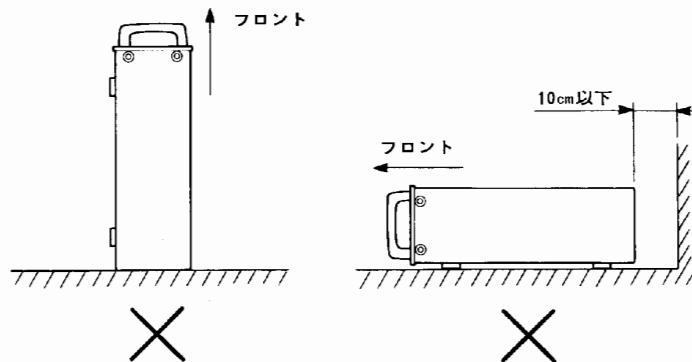
ハムや雑音が少ない側にスイッチをセットしてお使いください。

⑥ACアウトレット

非連動式のACコンセントです。消費電力250W以下の機器に使えます。

⑦冷却用ファン

アンプの放熱用冷却ファンです。アンプ前面下部のスリットから吸気し、後面より排気しますので、アンプの前面および後面はふさがらないでください。



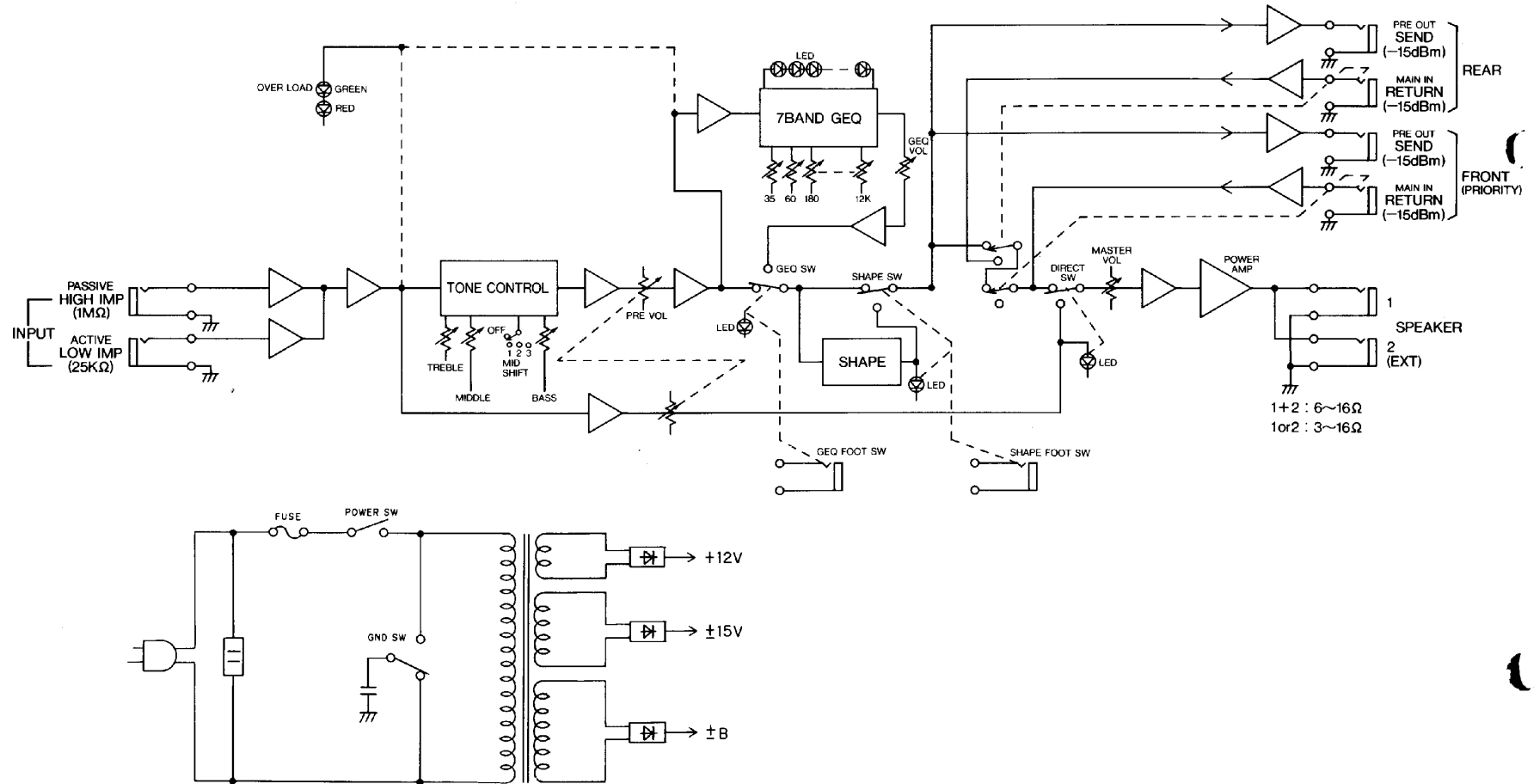
※ラックマウント時の注意

アンプをラックにマウントして使用すると、アンプから発生した熱でラック内の空気が温められ、機器の環境温度を上げることになります。

本機をラックへマウントして使用の場合は、以下の事項を守ってください。

- 本機のリアパネルとラック後面との間は、10cm以上開けてください。
- ラックの設置場所は、通風性の良い所を選んでください。
- 移動用ケース（ポータブルラック）に本機を1台のみ収納する場合は、ラック後面を全面開放してください。

ブロックダイアグラム



サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客様のご住所、お名前、お買上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客様にご購入の日から向こう1ヶ年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。

また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。

またお買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

●保証期間後のサービス

1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。)

そのほかご不明の点などございましたら、右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお問い合わせください。

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

〔修理受付および修理品お預り窓口〕

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
松本サービスステーション	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL(0263)32-5930
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F TEL(03)3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ御宮竹工場内 TEL(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ御名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ御千里丘センター内 TEL(06)877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ御神戸店内7F TEL(078)321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ御高松店内 TEL(0878)22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134
〔本社〕 技術営業部 テクニカルセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ御宮竹工場内 TEL(053)465-5195

ヤマハ株式会社LM営業部

ギター・ドラム営業課	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL(053)460-2431
首都圏営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 (矢島ビル) TEL(03)574-8592
関東営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 (矢島ビル) TEL(03)574-8592
大阪営業課	〒542 大阪府中央区南船場3-12-9 (心斎橋プラザザビル東館) TEL(06)252-5231
名古屋営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL(052)201-5199
九州営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2130
札幌営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1 (ヤマハセンター) TEL(011)512-6113
仙台営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 TEL(022)222-6146
広島営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 (ヤマハビル) TEL(082)244-3749

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA

ヤマハ株式会社

LM営業部

ギター・ドラム営業課

〒430 浜松市中沢町10-1

TEL. 053(460)2431